# 第6学年「音楽」学習指導案

授業者 町田 直樹

2月15日(土) 4階アッセンブリ 10:00~10:40 (話し合い11:00~11:45)

### 1 題材名 My Music

### 2 題材について

4年生継続して取り組んできた「Music Map」の時間。この時間は、自分(たち)の音楽を追求する時間と言ってもよい。自分の音楽活動をデザインし、マップを見直す中で、修正をかけることもあれば、さらに深い学びにつながることもある。さらには一人ひとりのマップが、大きな学習材に変化することもあるのだ。1時間の中の学びを、少しずつ形を変えながら次時に活かして活動していることもわかっている。4・5年生では、様々な音や楽器に触れる機会を多く設ける。その中で、自らが音楽と向き合い、試しながら楽しむ姿が多く、次第に自分のこだわりを見つけていく。6年生になると、楽器の選択の幅も広がり、ドラムやギター、ベースなどに興味を持ち始める子が多数出でてくる。たくさんの選択肢の中から、自らが音楽と向き合い、試行錯誤しながら進めていく姿が多く見られる。次第に自分の追求すべきものと出会い、没頭する姿が多い。また仲間とともに奏でる喜びや、難しさを、その時その場にいる仲間とともに共有し、さらなる活動へとつなげていく姿もある。mapには地図、天体図、星座図、図解、図表といった様々な意味を含んでいる。ミュージックマップを仮に音楽図とするならば、この時間は子ども自身が自分の音楽史を創っていく大切な時間と言い換えることができると考える。

この学年の子どもたちとは、5年生の時から関わっている。音楽に対して、特に器楽演奏に対して積極的に取り組む児童が多い。自分たちで何かを創り出そう、共に学んでいこうという姿が多く、質的な高まりも多く見られている。卒業を控えたこの時期、コロナ禍も経験した小学校6年間の音楽を通した学びが My Music という財産となるよう支えていきたい。

### 3 学習指導計画(3学期:7時間目/全12時間)

1 時間目 ← 12 時間目

ミュージックマップの時間(個人・グループで) やりたいことを選ぶ・個人やグループで考え練習・発表・コメントの交流

歌唱活動・リコーダーの演奏 (クラス全体で)

その時の子どもの実態に合わせて選曲(卒業おめでとうの会にむけて)

## 4 本時の学習について

### (1) 本時のねらい

小学校での学習のまとめを意識しながら、自分(たち)の計画のもと、自分(たち)なりに音楽表現を追究することができる。

#### (2) 予想される本時の展開

主な活動と子どもの姿	留意点
○「Music Map」の活動に取り組む	※教師は原則,様子を見守る
→教えあう	・必要に応じて話を聞く
→構成を考える	・必要に応じて一緒に試す
→確認しながら習得していく	・必要に応じてアドバイスする
→自分の好きな音楽を聴く・共有する	
→音楽に合わせてからだを動かす	
○発表を聴きあう→コメントタイム(発表があれば)	・言語化したものをつなぐ、意味づける
○みんなで歌ったり、リコーダーを演奏したりする	・その子なりの表現方法で
	・息に意識できるように

### 【授業後の話し合いで話題にしたいこと】

先生方が考える理想の音楽の授業の在り方について